

- 問1 インダス文明の遺跡から出土した、一角獣のような動物のレリーフと象形文字のような記号が刻まれた長方形の石製品について、その特徴や背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。
 2. これらは甲骨と呼ばれ、文字は亀の甲羅や動物の骨に刻まれた中国最古の文字である。
 3. これらはパピルスと呼ばれ、文字はナイル川流域の王の事績を記録したものである。
 4. これらは粘土板と呼ばれ、文字はメソポタミアとの交易記録を記した楔形文字である。
-
- 問2 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. インカ帝国
 2. インダス文明
 3. マヤ文明
 4. アステカ文明
-
- 問3 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため
 2. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため
 3. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため
 4. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため
-
- 問4 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。
 2. 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。
 3. 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。
 4. メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。
-
- 問5 アレクサンドロス大王の東方遠征によって、ギリシャの文化とオリエントの文化が結び付いて生まれた文化を何と言いますか。また、その文化の影響が、奈良県にある法隆寺のどのような場所に見られるとされていますか。正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
 2. ヘレニズム文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
 3. ルネサンス文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
 4. ルネサンス文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
-
- 問6 安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 聖武天皇が保護した正倉院の宝物を手本にして作られたから。
 2. 明から勘合を取り寄せて質の高い陶磁器を大量に輸入したから。
 3. 渡来人が大陸から新しく須恵器の作製技術を日本に伝えたから。
 4. 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。
-
- 問7 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. インカ帝国
 2. モンゴル帝国
 3. オスマン帝国
 4. ムガル帝国
-
- 問8 宗教の歴史について、7世紀のアラビア半島を中心に興ったイスラム教の成り立ちとして最も適切な記述はどれか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. パレスチナ地方でイエスが説いた教えを弟子たちが広めた。
 2. インドの伝統的な信仰とアーリヤ人の宗教が結びついて成立した。
 3. ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。
 4. シャカが修行を通じて、人間の苦しみを克服する教えを説いた。
-
- 問9 キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還するために行われた十字軍の遠征が、その後のヨーロッパの社会情勢に与えた影響として正しい説明を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. カトリック教会の権威が以前よりも強固になり、封建領主が各地で独立した権力を握るようになった。
 2. イスラム教との交流が完全に遮断された結果、ヨーロッパ独自の自給自足的な経済が完成した。
 3. 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。
 4. 地中海東岸への遠征を通じて、北アフリカから西アジア一帯をキリスト教勢力が完全に支配下に置いた。
-
- 問10 四大文明において発達した文字のうち、中国の黄河文明の流れを汲む「甲骨文字」に関する説明として、他の文明の文字と混同しないよう正しく述べたものはどれか次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. インダス川流域で見つかった石の印章などに刻まれており、現在も解読が進んでいない文字である。
 2. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた象形文字であり、東アジアで広く使われる漢字の起源となった。
 3. メソポタミアで発達し、粘土板に葦の茎を押し当てることで鋭い直線の組み合わせとして表現された。
 4. エジプトで発達し、パピルスと呼ばれる紙のような材料に宗教儀礼の内容などが記された。
-
- 問11 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線や緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。
 2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。
 3. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。
 4. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。
-
- 問12 1949年、群馬県において相沢忠洋が関東ローム層（火山灰の層）の中から打製石器を発見したことにより、それまでの日本列島の歴史認識が大きく覆されました。この発見によって、日本列島において初めて存在が証明された時代として正しいものはどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 弥生時代
 2. 古墳時代
 3. 縄文時代
 4. 旧石器時代
-
- 問13 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）
 2. インダス文明 - 黄河 - インダス文字
 3. 中国文明 - チグリス・ユーフラテス川 - 甲骨文字
 4. メソポタミア文明 - インダス川 - 楔形文字

答え合わせ・解説

問1	答え 1 これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。	インダス文明の遺跡からは、滑石（かっせき）で作られた四角い印章が多数発見されています。そこには一角獣や牛、象などの動物の姿とともに独自の文字が刻まれており、荷物の封印などに使用されたと推測されています。他の古代文字が解読されていく中で、この文字は解読が進んでいないため、文明の政治体制や信仰の詳細は謎に包まれています。
問2	答え 1 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問3	答え 2 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問4	答え 2 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問5	答え 1 ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画	紀元前4世紀のアレクサンドロス大王の遠征をきっかけに、ギリシャの文化が東方のオリエント文化と融合してヘレニズム文化が誕生しました。この文化はシルクロードを通して東アジアまで伝わり、日本の飛鳥文化にも影響を与えました。法隆寺金堂壁画に見られる豊かな肉体表現などは、その代表的な事例として知られています。
問6	答え 4 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問7	答え 1 インカ帝国	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問8	答え 3 ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。	アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドが、唯一神アラーの啓示を受けて創始したのがイスラム教です。他の選択肢について、シャカは仏教、イエスはキリスト教、インドの伝統信仰との結びつきはヒンドゥー教の成り立ちを説明したものです。
問9	答え 3 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。	十字軍は長期にわたり遠征を繰り返しましたが、最終的に聖地を奪還できず失敗に終わりました。これにより、遠征を主導したローマ教皇の権威は衰え、多大な戦費を負担した封建領主や騎士も没落していきました。その一方で、勢力を維持した国王が中央集権的な国家体制を整え始め、中世社会の変化を促しました。また、遠征を通じて東方貿易が盛んになり、イタリアの諸都市が繁栄したことも重要な影響です。
問10	答え 2 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた象形文字であり、東アジアで広く使われる漢字の起源となった。	古代文明で生まれた文字はそれぞれ特徴的な素材に記されました。メソポタミアの楔形文字は粘土板に、エジプトのヒエログリフはパピルスや石碑に、インダス文字は印章に記されています。これらに対し、中国の殷で生まれた甲骨文字は亀の甲羅や獣骨を媒体とした点が特徴です。また、他の文字の多くが減じたり音を表す文字に変化したりした中で、甲骨文字は意味と音を併せ持つ漢字の直接の祖先として、現代までその系統が続いている点で非常に特異な存在と言えます。
問11	答え 1 ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じて、アフリカを分割し植民地化しました。その際、現地に住む人々の言語、文化、民族の居住範囲といった実態を考慮せず、宗主国の利害関係を優先して経緯線などで機械的に境界線を引きました。この「人為的境界」は、一つの民族を分断したり、歴史的に対立していた民族を同じ国の中に閉じ込めたりすることにつながり、独立後の国境紛争や内戦、さらにはレアメタルなどの資源をめぐる対立が激化する大きな要因となりました。
問12	答え 4 旧石器時代	それまでの日本では、土器を使用する縄文時代より前の時代には人々は住んでいないと考えられていました。しかし、群馬県の岩宿遺跡で相沢忠洋が打製石器を発見したことにより、土器を使用せず狩猟や採集を行っていた「旧石器時代」が日本にも存在したことが初めて学術的に証明されました。
問13	答え 1 エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。